

2019年2月28日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号:4575 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者兼管理部長
加登住 眞(電話 055-954-3666)

AACR年次総会におけるCBP501臨床試験データ発表について

当社の抗癌剤候補化合物CBP501の臨床試験(フェーズ1b試験)のデータについて、2019年3月29日から4月3日まで米国ジョージア州アトランタで開催される米国癌研究会議(AACR)年次会議において発表されることとなりましたので、お知らせします。

表題: "Phase Ib clinical study of CBP501, cisplatin and nivolumab administered every 3 weeks in patients with advanced refractory tumors. Dose escalation cohort"
(CBP501・シスプラチン・ニボルマブ(オブジーボ)を薬剤抵抗性進行癌患者に3週間隔で併用投与するフェーズ1b試験の用量漸増相)

<https://www.abstractsonline.com/pp8/#!/6812/presentation/10041>

セッション: Phase I-III Trials in Progress (進行中の臨床第1~3相試験)

開催日時: 4月2日(火)13:00~17:00(現地時間)

場所: Georgia World Conference Center

抄録の内容は現時点でAACRのエンバーゴ(報道不可)対象となっているため、解禁になり次第、詳細をお知らせします。

公表される抄録には、当社が2018年11月15日に公表した『CBP501フェーズ1b試験用量漸増相 中間とりまとめ』の時点からAACRへの抄録提出(2019年1月10日)までに明らかとなった新しいデータが追加されています。

また、4月2日の実際の発表には、2019年1月31日までのさらに新しい抄録未記載データが加わります。

本件による当期業績への影響はありませんが、現在進めているCBP501臨床試験の進行および当社の目下の最優先課題としているCBP501提携獲得に向けて、いずれも好影響を及ぼすと考えています。

なお、2019年1月28日に当社が『AACR年次総会における当社基礎研究成果のポスター発表について』で公表した同AACR年次総会における発表の抄録がオンライン公開されましたので、併せてお知らせします。

"Recurrent somatic mutation pair occurrence patterns reflect clinical outcome for chemo- & immunotherapy treatments"

<https://www.abstractsonline.com/pp8/#!/6812/presentation/6137>

以上